



安芸の宮島「厳島神社の大鳥居」

**慶應義塾大学 広島通信三田会報**

**みやじま**

**第57号**

**2019年11月**

**慶應義塾大学 広島通信三田会**

## 目次

秋の三田キャンパス	P 1
「2019年連合三田会大会を終えて」 瀬戸田誠	P 2～4
三田会活動と広報について 小林節子	P 5
戦わずして勝つ（孫子の教え） 迫田勲	P 6～7
塾情報、各地情報	P 7

## 秋の三田キャンパス

人の慣れは恐ろしい。随分昔の新聞か何かの記事にあったこと、今現職の某大臣が衆議院議員に初当選後、国鉄の無料パスが与えられ、新幹線のグリーン車に乗る時、周囲の目を気にしながら恐縮して座っていたが、慣れてくると、特権意識が芽生え、それが当たり前と思うようになり、混んでいても、席がないと腹が立った、と。何でも慣れ、それが当たり前と思うようになると人の心の奥に不平不満が芽生え、感謝の心を失う。毎年これが当たり前と思って全国幹事会や連合三田会に出席するが、その陰に多くの人のご苦労があることを知り、感謝の心を忘れてはいけない、と思う。



耐震工事の終わった図書館旧館（重要文化財）



三田演説館（重要文化財）

福澤先生の銅像はここに移転された



へいわきたる  
平和来（朝倉文夫作）

## 「2019年連合三田会大会を終えて」

瀬戸田 誠 (H元・経卒)

2019年連合三田会大会は10月20日、昨夜の雨が嘘のように上がり、爽やかな秋空のもと開催されました。早朝より、日吉キャンパスは、慶應ファミリーが溢れました。

本年は130三田会(H元年卒)が実行本部委員として中心的運営活動にあたりました。私は通信三田会卒者の中から同期の大会スタッフを募り5名の協力者がありました。男子3名、女子2名で、私以外はすべて都内在住者。当日までの大会役員会では、本当に助かりました。女性も大会景品の袋詰め作業など精力的に活動して頂きました。5名ともスクーリングや、卒業式での面識無く、卒後の通信三田会活動や、同期会での顔合わせが初めてでした。通信卒ゆえのハンディキャップと言わざるを得ません。しかし、実行本部に加わると通学課程のメンバーとも同期卒ということで絆が生まれ、慶應卒の深い繋がりを改めて感じました。今回のスタッフに加わった全員が委員をやって良かったという感想でした。



早朝より足早に日吉会場に向かう塾員ら



日吉会堂での大会開会式

2万人を超える慶應ファミリーの集った2019年連合三田会大会も天候にも恵まれ、大会券も史上最高の売り上げを記録し、大成功でした。来年度は建設中の新日吉記念館で初の連合三田会大会が開催されます。今から楽しみです！



建設中の新日吉記念館、2020年3月竣工予定

そして、大会の総仕上げとして、11月18日「ロイヤルパークホテル東京」にて、2019年連後三田会実行委員慰労会が開催されました。通信卒の5名のスタッフメンバーも全員出席しました。平日の月曜日の開催にも関わらず、現役社員と真ん中の通学課程の皆さんが多数出席（さすが慶大卒で会社役員・社長職のメンバーも多かった）

今回の活動で、学部を超えて新しい繋がりが出来、10年後の連合三田会実行委員として、活動する目標が出来ました。目標があるということが健康で長生きする、秘訣であると改めて感じました。



日本テレビアナウンサー 辻岡義堂君の司会で抽選会

## ◆ 連合三田会大会でのスナップ写真 ◆



同期の柴田君（左）と



フィナーレ終了後、日テレ辻岡アナ（左）と

2019年連合三田会大会の開会式（塾高日吉会堂にて）及び大会券抽選会の風景です。総合司会は150三田会の辻岡 義堂 日本テレビアナウンサーです！彼は、慰労会の司会もやってくれました。テレビで活躍中ですので視聴下さい！



2019年11月18日 ロイヤルパークホテル東京にて慰労会開催

### 『連合三田会大会実行委員のしくみ』

瀬戸田 誠 (H元・経卒)

連合三田会大会の運営は、卒業40年目の塾員より実行委員、委員長を選任し、実行本部委員、本部長を卒業30年目の塾員より選任。以下卒業20年目、10年目の塾員も参画。卒業10年を節目に連合三田会大会のスタッフを構成します。他、現役学生や日吉事務センターなどの全面的協力を得て、大会の運営に当たります。おそらく、日本一の同窓会と言っても過言ではないと思います。

今回は、スタートより通信卒グループとしてスタッフに参画し、精力的に打ち合わせ会、事前準備作業に加わり、存在感ある活動を心掛けました。通信のスタッフも4名が在京者だったことは、心強いメンバーでした。



( 瀬戸田 ・ 柴田 ・ 上野 ・ 池田 ・ 本多 )

## 三田会活動と広報について

小林節子(H17・経卒)

私は在学中は慶友会にも属さず、卒業後も広島通信三田会に属したものの、十数年間はほとんど活動に参加していません。積極的に参加するきっかけになったのは、息子が慶應商学部に入學したからでした。そもそも慶應通信で卒業できるわけがない、と、心無い周囲の言葉に何度も挫折し、七転八倒しながら掴み取った卒業。にも拘らず、特に地方では、通信の卒業は一般人には見下されているような劣等感があり、実は息子にも慶應通信の卒業だとは言っていませんでした。縁あって息子が塾生となり、保護者として学校行事に関われるようになると、改めて慶友会・三田会に興味を湧くようになり、特に広島では、広島慶友倶楽部と広島通信三田会の合同総会が行われていたので、ようやく出向いてみようかという気持ちになった次第です。

昨年度から何度か参加していると、顔見知りも増え、特に中四国、全国、と幹部クラスの方や各々学校担当者(役付き)様方とお声掛けさせていただけるようになってきました。その中に、私の卒業を運命づけたご縁のある方がおられました。徳島の大原さん。卒論指導の先生を考えていた頃、たまたまお目当ての先生が講師派遣で徳島に行かれることを知りました。これが初めて参加した慶友会活動でした。当時、卒業を控えた大原さんは、何か受賞される手続きに追われていて、お話しした記憶はなかったのですが、後日手紙と集合写真が届き、とても嬉しかったことを覚えています。

この後、私は数回挫折を繰り返すわけですが、夏スクですら写真一枚残っていないのに、この時の徳島での集合写真だけは、何かあるたびにひょっこり実家の机周りから出てくるのです。とても不思議なことでした。実はこの時のお目当ての先生に師事することは出来なかったのですが、現在、商学部教授の岡本大輔先生にご指導いただき、最後の卒業面接諮問時、副査にそのお目当ての先生を呼んでくださいました。うわあ、今思い出しても涙が出る！そして今、岡本先生の授業を息子が受けている。まだまだ続く、私の KEIO Mystery、、、

20年以上の歳月を経て、大原さんに再会できたことは本当に驚きでした。本当に嬉しかったです。おそらくご本人は覚えておられないことでしょうけれど、私にとっては、今でも目標にしている先輩の一人です。

最近、私設ホームページをつくり、広報担当幹事として広島通信三田会に参加させていただいています。でも正直なところ、会について何も知らなくて、ホームページは事実上「思い出アルバム」化しているようで申し訳ないです。環境格差もかなりあると思うし、やはり紙ベースの「みやじま」はまだまだ必要だと思います。できることから、お役に立てることから、参加していきたいです。息子の邪魔にならないように。それからいつかは、広島に変人ありきと噂されるように。目指せ、大原さん！そして、迫田会長瀬戸田さんはじめ、大活躍中の諸先輩方の背中を追いかけて、三田会塾員を名乗れる幸せを噛み締めていたいと思います。

### ◆ 追記 ————— こちらも不思議なご縁です ◆

2018年4月、パシフィコ横浜で行われた塾入学式に小林節子さん親子(ご子息様は商学部入学)が出席されていたことを後から知りました。私は卒業50年の招待を頂き出席中。入学のご子息様と塾員の母親の節子さん、それに私が同じ会場にいたのです。(迫田勲)

## 戦わずして勝つ（孫子の教え）

迫田勲（S43年法・政卒）

私は約30年前、慶應の先輩に誘われ武岡淳彦先生の主宰する「孫子の兵法塾」に入塾、3年間「孫子」について学んだ。先輩は江田島の海軍兵学校から慶應予科に進み、小松製作所（現コマツ）に入社、ここで後日、私の上司になったご縁である。

先輩の顔を立て入塾したが、当初は兵法とか、兵は詭道なり、という言葉に抵抗があった。しかし、講義を受けている内に、約2500年前、中国の春秋時代に孫武が著したと云われる孫子の深遠な思想に触れ、これは表面上は戦の本であるが、人を死傷させない、心の傷をつかないで戦を決着する、つまり平和を説いたものであり、そして人の生き方、処世の哲学であることに気づき、本気で孫子を学ぼうと思った。それが2500年も続いた不朽の名作、世界のベストセラーの所以だと思った。この思いで3年間皆勤することができ、終了証書に免状皆伝までいただいた。しかし、その後の仕事の多忙さや不勉強も相まって、免状を持って講演や塾を開くことなど何もしなかった。

孫子は我が国に8世紀、遣唐使として中国に渡った吉備真備が帰国する時、持ち帰った、と云われる。以後孫子は朝廷の秘書として大事に保管されていた。以後、源、武田「甲州流軍学」、毛利、北条、山鹿、徳川、吉田松陰らへと流れ、今日では政治家や企業経営者、スポーツのリーダーのみならず、ビジネスマンなど多くの市民に愛読されている。

孫子の神髄は「戦わずして勝つ」その原文は「百戦百勝は善の善なるものにあらず、戦わずして人の兵を屈するが善の善なるものなり」です。

実力行使（戦=いくさ）をしないで目的を達成すること（勝つ）が一番、戦は愚かである、例え戦に勝っても我が軍も多かれ、少なかれの死傷者を出す、更に相手の恨みを残す。

秀吉が備中高松城を攻める時、秀吉は城の周りに掘を築き（時間はかかったが）囲み、所謂兵糧攻めをした。城内はやがて食料や物資が底をつき、ついに城主清水宗治は降参、秀吉や敵も1人の死傷者も出さず城を手に入れ、戦に勝った。孫子の教えを実践した有名な事例。

徳川家康は長子を将軍にする仕組みを作り、跡目争いを避け、260年徳川家の存続を図った。これも戦わずして、徳川家の安泰を図った。

今もって我が国が、中国や韓国、北朝鮮等の国との関係がしっくりしていない背景には過去の戦争の怨念（歴史問題）がある。代々にわたり子孫の恨みをかっているのである。

今日、北朝鮮の核開発、実験を巡り、アメリカとの緊張が高まっている。仮に戦争になれば、核戦争になり、その恐ろしさは広島、長崎で実証され良く知られている。今日開発されている核はその何倍も？とも云われ、当事国だけでなく、地球がふっとんでしまう。孫子は、実力行使（戦争）はダメ、外交や経済、政治で解決しなさい、と言っている。お互い戦争の弊害は熟知しており、話し合い（外交）や経済的解決の機会を模索しているが、お互い腹の探り合い、その着陸点は見つかっていない。

孫子は、犠牲者を出さずに戦に如何にして勝つか、について編み出された戦の戦法（哲学）であるが、それは企業経営や今に生きる私たちの処世哲学の書でもある。如何にして商売に勝つか、スポーツに優勝するか、選挙に勝つか、試験に合格するか、病気（健康）に勝つか、自分の人生に勝つか、孫子の哲学は全てに応用出来る。この敵とは目的を達成するための「課題や障害となるもの、困難」と置き換えれば分かり易い。

例えば、私ごとであるが、加齢と共に衰える筋肉や身体機能の低下対策にプールに通い、約1時間、水泳(500m~600m)と水中歩行(1000m位)を週2回程度行っている。同年齢の広島会の会員は毎日1万歩歩き、それを手帳に記録、健康維持を図っている。ゴルフ、登山、ボーリング、テニス、野球、サッカー、グラウンドゴルフ、散歩、走ること、ダンス、何でも各自にあった方法を行い、それが生活の一部、習慣になるよう継続することが大切。これが結果として、自然に(戦わずして)健康を手に入れることに繋がる。

孫子の教えは、普段から目的に向かって行い、準備をしっかりすることである。平凡であるが、平凡こそ真理が隠されている。この際、孫子の神髄を分かり易く解説した本も多く出回っているのでは是非一読をお勧めします。

## 塾情報、各地情報

- ☑ 日吉記念館建替え工事 2020年3月竣工予定 地上5階、地下1階、約1万人収容
- ☑ 第81回都鳥の会(京滋通信三田会) 2020年2月24日(祭)又は29日(土)  
京都市、幾松
- ☑ 第25回、中国四国合同通信三田会 2020年4月 高知市
- ☑ 春期全国幹事会、愛知通信三田会創立30周年記念行事 2020年5月23日(土)  
名古屋市
- ☑ 札幌通信三田会創立50周年記念式典、講演会、祝賀会 2020年7月4日(土)  
札幌市

## 編集後記

今年の連合三田会実行委員に卒業30年の瀬戸田誠君(全国通信三田会副会長、広島副会長)が就任、大会概要と慰労会の模様などの記事は貴重なものであった。2万人余が参加したビッグイベントの舞台裏、この成功要因に多くの委員の和とパワーを感じた。さすが慶應。遠方からの出席は身体的にも経済的にも大変だったと思うが、貴重な経験だったでしょう。お疲れ様でした。

慶應義塾大学 広島通信三田会報 みやじま 第57号

編集人 小林節子 広島通信三田会 広報担当幹事

発行人 迫田 勲 広島通信三田会 会長

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内1448番地

E-mail [i-sakoda@h9.dion.ne.jp](mailto:i-sakoda@h9.dion.ne.jp)

発行 2019年11月25日

会のHP <https://hiro-tu-mitakai.net>

ホームページは  
こちらからどうぞ

